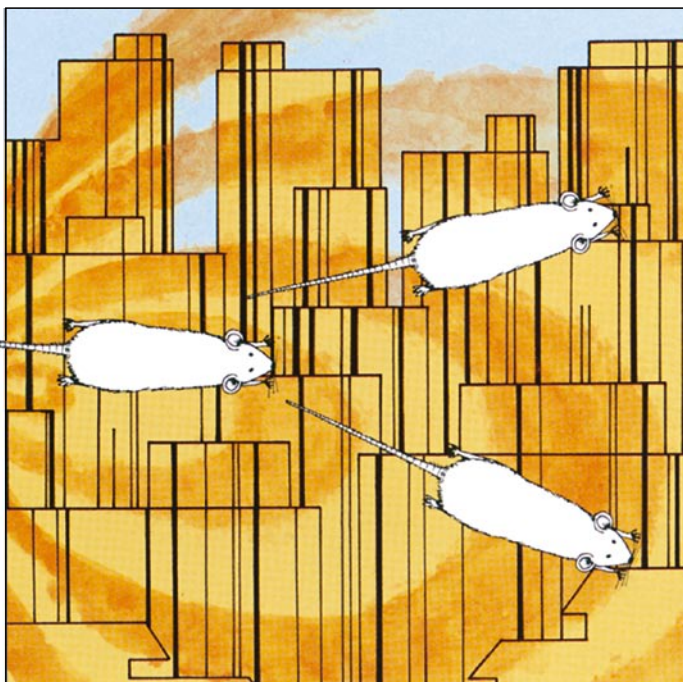


## 都会で増殖を続ける ネズミ



## ネズミの種類

屋内に定着するネズミは、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミの3種類で家ねずみと呼ばれる仲間です。畑や林と接していると、野外にすむネズミが入ってくるがありますが、定着はしません。成熟した個体の特徴は次のようですが、成熟していない小型の個体では、一瞬では区別が付きません。

### クマネズミ

体長15～25cmほどの大きさで背面の毛は茶色～褐色をしています。時には黒



クマネズミ

い毛色の個体も見られます。尾が体と同じか少し長めで、腹面は黄褐色をしています。目が丸く大きいのも特徴です。多くは建物の上層階や天井や棚の上で活動します。ビルに多いのですが、一般住宅でも普通に見られます。電線を渡るとか凹凸のある壁や木、配管を登ることができます。警戒心が強く、食性も植物質に対する好みが強いです。



ドブネズミ



ドブネズミ

### ドブネズミ

クマネズミよりも大型でずんぐりしています。尾は体よりも短く、背面の毛色は褐色～灰褐色です。家屋では床よりも下で活動することが多く、側溝、下水溝、地下街などでもよく見ら

れます。雑食性で極めてどん欲、どう猛です。

### ハツカネズミ

体長6~10cmと小型で、活動もそれほど活発ではなく、狭い範囲で活動しま



ハツカネズミ

す。農家の納屋などによくすみ着きますが、アパートで定着していた例も見られます。

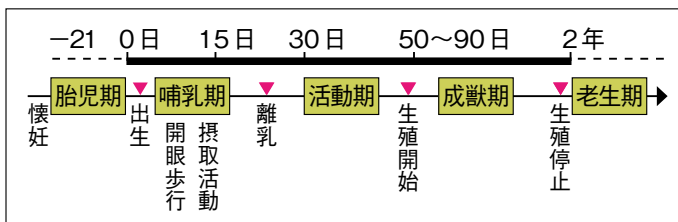
## ネズミの一生

春から秋にかけて繁殖が行われますが、適した条件の下では、表に示したような繁殖状況を示します。

### 家ネズミの寿命と繁殖

種別	ドブネズミ	クマネズミ	ハツカネズミ
寿命	約3年	〃	1~1.5年
繁殖可能期	生後3ヵ月~2年	〃	生後約35日
妊娠期間	約21日	〃	17~20日
年間分娩回数	5~6回	〃	6~10回
1回の産子数	平均約9匹	平均約6匹	平均約6匹

### ネズミの一生



## 媒介される疾病など

ネズミに嚙られる被害はよく知られていますが、サルモネラによる食中毒やウイルス病、嚙られて起きる咬症など、感染症を媒介することでも知られています。また、良く知られているイエダニはネズミの寄生虫ですが、イエダニは人も激しく吸血します。最近では高齢者の独居生活の場などで、このようなネズミによる被害が頻発しています。

## 対策

### 環境整備

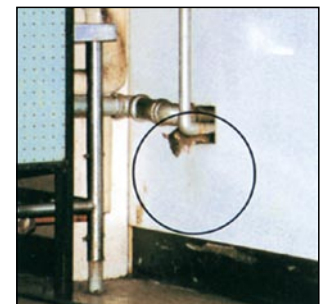
食品や厨芥類を蓋付きの容器で管理する、隙間をふさぐ、物品の乱雑な放置をやめるなど環境管理を行って、ネズミがすみつかないようにすることが最も重要です。排水路、ドレン、ネズミ穴などに金属製の網をかけたり、充填剤で穴埋めをしたりしますが、隙間をふさぐのは自分では



できないこともあるので、このような場合は、専門家に依頼したり、意見を聞いたりしてください。

### 捕獲する

粘着シートや生け捕りカゴ、はじき罠(パチンコ)などのトラップを使いますが、思ったように捕れないことがあります。仕掛ける場所、誘いの餌の付け方など一工



ネズミの通路には特有の「よごれ」がつき、ラットサインと呼ばれています。

夫がいるからです。あせらずにトラップに慣れさせることがコツです。数日はバネが落ちないようにして、餌だけとらせるという工夫も必要です。

トラップにつける餌は、ネズミが食べそうなものなら何でも良いのですが、できれば自宅で被害を受ける食品がよく、なければサツマイモやさつま揚げなど、やや硬めで鈎から外れにくいものを、指先くらいの大きさに切ってつけると良いでしょう。

粘着シートを使う場合には、水がかかる場所や埃が粘着面に貯まりやすい場所では効果が半減します。また、足や尾などしかかからないと、ネズミが動き回ってあちこちを汚しますので、置く場所にも注意を払って下さい。

### 殺鼠剤を使う

毒餌を食べさせて駆除する方法です。置けばすぐに食べてくれるというものではありません。好みそうな餌と混ぜたりする工夫が必要です。3日間は同じ場所に配置し、その間に喰わなければ配置場所を変えてください。

殺鼠剤は2種類あり、急性といわれるシリロシドやノルボルマイドを有効成分に含むものは数日で良いのですが、喫食性は劣ります。抗凝血剤と云われるワルファリンなどはよく食うのですが、7～10日ほど与え続けなければなりません。最近、ジフェチアロールが含まれる製剤も出ましたが、これはそれほど長く使わなくても効果が出ると云われています。

いずれの場合もドブネズミよりクマネズミの方が厄介です。